

# 第3次加古川市環境基本計画 (改定版)

持続可能な発展をめざすまち 加古川  
～ いきいきと成長できる未来の環境へ ～

令和5年9月  
加古川市





# はじめに

本市は瀬戸内海の播磨灘に面し、北部には播磨中部丘陵県立自然公園の山々、中央部には市の名称でもある県内最大の一級河川「加古川」が流れ、市域には数々のため池など、うるおいとやすらぎに恵まれたまちです。これらの自然は、いにしえより市民の暮らしと本市の発展を支えてきました。私たちは、先人たちが守り育ててきた本市の美しい水辺や豊かな緑を、これからも次代の子どもたちに引き継いでいかなければなりません。



しかし、近年の地球環境は、地球温暖化による異常気象、生物多様性の喪失、海洋プラスチック汚染など、多様化・深刻化しており、世界規模の差し迫った課題となっています。さらには、令和元（2019）年以降続く新型コロナウイルス感染症の蔓延や、令和4（2022）年にはウクライナ・ロシア情勢によるエネルギー供給不安などが、私たちの暮らしに大きな影響を与えています。

時代の転換期とも言える状況の中、国際社会では2030年までにSDGsに掲げた目標達成を目指し、環境問題をはじめとした様々な課題を克服する取組が進められています。

中でも気候変動対策は待ったなしであり、我が国では、令和2（2020）年10月に「2050年カーボンニュートラル 脱炭素社会の実現を目指す」ことを宣言し、世界の平均気温の上昇を産業革命以前に比べて1.5度に抑えるため、更なる温室効果ガス排出量の削減を強力に進めているところです。

また、兵庫県では、産業が集積する臨海地域のカーボンニュートラルポート構想をはじめとした水素の活用を促進するほか、多くの自治体や企業でもゼロカーボンに向けた取組が積極的に実施されるなど、あらゆる主体が環境問題を我がこととして捉え、対策を強化しています。

本市においても、令和3（2021）年3月に「第3次加古川市環境基本計画」を策定し、本市の環境に関する様々な取組を進める中、地球温暖化防止に向けて目指す姿を明らかにするため、同年6月に「加古川市気候非常事態宣言」を、翌年の2月には「加古川市ゼロカーボンシティ宣言」を表明しました。この宣言にある、2050年の脱炭素社会の実現に向け、中間目標として2030年までの取組や温室効果ガス排出量削減目標値の更なる高みを目指した見直しを行い、「第3次加古川市環境基本計画（改定版）」を策定いたしました。市民・市民活動団体・事業者・学識経験者・行政との協働により、本市の環境を持続可能に発展させ、環境先進都市を目指してまいります。

最後になりますが、計画の改定にあたり、熱心にご審議いただきました加古川市環境審議会委員の皆さま、ご意見を賜りました多くの関係者の方々に、心から敬意を表するとともに深く感謝いたします。

令和5（2023）年9月

加古川市長 岡田康裕



加古川観光大使 上野樹里 作

### 加古川市ゼロカーボンロゴ

加古川市が 2050 年までにゼロカーボンシティの実現を目指すため、令和 5 年 5 月に加古川観光大使の上野樹里さんによってデザインされたシンボルマークです。ロゴに込められた想いは次のとおりです。

- 自然なニュアンスを生かせるお気に入りのパステルで、親しみやすいものに仕上げています。
- ロゴ全体は青と緑を基調とした丸い形とし、地球を表現しました。
- 「Zero」の「o」と「Carbon」の「C」を太陽と月に見立て、昼夜を描くことで、将来も永遠に持続（サステナブル）していく誓いを込めています。
- 下部に高御位山と加古川の流れを表し、豊かな加古川市の自然が将来に引き継がれる姿を描いています。
- 「Zero Carbon」の「r」を新芽に、「Kakogawa」の「g」を花に重ね合わせ、新たな自然を育てていく想いを表しました。
- 加古川がこれからも皆さんによって守られ、皆さんにとって住みやすく健やかな街であることを願っています。

# 目次

● はじめに	
● 第1章 環境基本計画とは	
第1節 計画策定の趣旨	2
第2節 計画の基本的事項	3
第3節 計画に求められる視点	6
● 第2章 環境をめぐる社会情勢	
第1節 環境をめぐる社会情勢	8
第2節 加古川市の基本特性	11
● 第3章 加古川市の環境の現状と課題	
第1節 地球温暖化*	18
第2節 地域環境負荷*	20
第3節 生物多様性*	27
第4節 うるおいとやすらぎの環境	30
● 第4章 計画が目指すもの	
第1節 環境像	36
第2節 基本目標	37
第3節 推進目標	39
● 第5章 取組施策	
第1節 加古川市地球温暖化対策地方公共団体実行計画（区域施策編）	42
第2節 加古川市の地球温暖化*に対する緩和・適応対策	53
第3節 加古川市の環境負荷*の低減対策	62
第4節 加古川市の生物多様性*の保全対策（生物多様性かこがわ戦略）	68
第5節 加古川市の生活環境の保全対策	77
● 第6章 みんなで取り組むために	
第1節 各主体の役割	83
第2節 各主体間の協力・連携	84
第3節 環境教育啓発の推進	87
● 第7章 計画の進め方	
第1節 計画推進の仕組み	89
第2節 計画の進行管理	91
● 資料編	94

(注) 本文中の※を付した用語については、「資料編」 P122 以降の「用語解説（五十音順）」に記載しています。

# 第3次加古川市環境基本計画（改定版）の構成

## 第1章 環境基本計画とは

- 第1節 計画策定の趣旨
- 第2節 計画の基本的事項
- 第3節 計画に求められる視点

## 第2章 環境をめぐる社会情勢

- 第1節 環境をめぐる社会情勢
- 第2節 加古川市の基本特性

## 第3章 加古川市の環境の現状と課題

- 第1節 地球温暖化\*
- 第2節 地域環境負荷\*
- 第3節 生物多様性\*
- 第4節 うるおいとやすらぎの環境

## 第4章 計画が目指すもの

- 第1節 環境像  
「持続可能な発展をめざすまち 加古川」  
～いきいきと成長できる未来の環境へ～
- 第2節 基本目標
  - 1 地球温暖化\*対策（緩和・適応）を進める
  - 2 広域に及ぶ環境負荷\*を低減する
  - 3 生物多様性を保全する
  - 4 うるおいとやすらぎのある環境を育む
- 第3節 推進目標

## 第5章 取組施策

- 第1節 加古川市地球温暖化対策地方公共団体実行計画（区域施策編）
- 第2節 加古川市の地球温暖化\*に対する緩和・適応対策
- 第3節 加古川市の環境負荷\*の低減対策
- 第4節 加古川市の生物多様性\*の保全対策（生物多様性かこがわ戦略）
- 第5節 加古川市の生活環境の保全対策

## 第6章 みんなで取り組むために

- 第1節 各主体の役割
- 第2節 各主体間の協力・連携
- 第3節 環境教育啓発の推進

## 第7章 計画の進め方

- 第1節 計画推進の仕組み
- 第2節 計画の進行管理